



今日から小学1年生（大隅北小学校）

# そ 曾 於 議 会 だ よ り

2007. 5 No.8

## 議会だより

発行：鹿児島県曾於市議会  
 編集：議会広報等調査特別委員会  
 〒899-8692 鹿児島県曾於市末吉町二之方1980  
 TEL0986-76-8816 FAX0986-76-8901

### ● 主 な 内 容 ●

常任委員会  
**審査報告**



16P

市政を問う  
 一般質問8人

8P

3月定例会  
 上程議案可決

6P

市長・議員等の  
 給与・報酬を減額



4P

平成19年度一般会計予算等  
 366億4971万円  
 を可決

2P

# 年度

3億764万円

# 初予算可決

水道会計 5億207万円

## 発展を

## 3月定例議会

### 61議案を審議

3月定例会は、2月28日に開会し3月29日に閉会しました。今議会では、平成19年度当初予算や平成18年度の補正予算などに関するもの、また曾於市個人情報保護条例の制定他50件、承認案1件、曾於市特別職員の給与の特例に関する条例の制定についての追加議案1件、医師・看護師不足対策に関する陳情1件、曾於市議会議員の報酬の特例に関する条例の制定について等の発議が7件、審議可決・採択され、また森林組合の財政支援についての陳情1件が継続審査になりました。

### 平成19年度当初予算

平成19年度当初予算編成は、前年度に引き続き「活力に満ち、心豊かでいつも夢と希望のもてる、元氣な曾於市の創造」を目標とし、厳しい財政状況の中で施策の実現に向けて事務事業を実施することから、従来の発想から脱却し、前年度以上に徹底したコスト削減意識を持つて事業に取り組みとともに、限られた財源を効果的に活用し、最小の経費で最大の効果が達成できる予算となっています。

予算規模は、前年度の当初予算額18億8100万円に対して、1億5900万円0.9%増の18億4千万円です。主な歳出は、人件費が0.2%減の40億129万4千円、物件費は1.6%増の23億4895万5千円、維持補修費は2.6%減の2億4086万4千円、扶助費は3.4%増の28億7030万4千円、補助費等は3.2%増の17億5392万9千円、公債費は2.9%減の33億4356万3千円の予算編成となりました。

また、平成19年度予算は、財政計画に基づき予算調整を行ないましたが、高齢化率の上昇による扶助費の高騰や大型事業の導入により、財政計画を上回る予算規模となりましたが、補助事業や合併特例債及び過疎債等の有利な起債を充当しながら、可能な限り一般財源の充当を抑制したり、指定管理者制度への移行により施設管理経費の削減を図りながらの予算編成です。

# 平成19年

# 9年

一般会計 188億4000万円

特別会計 17

均衡ある

## 一般会計

前年度より1億5900万円0.9%の増。高齢化率の上昇による扶助費の高騰や大型事業（末吉中学校校舎改築・ゆず加工施設整備・メセナ住吉交流センター泉源整備）の導入等による普通建設事業費増によるものです

歳入 (単位：千円)

項目	予算額	構成比	前年比
市税	3,061,741	16.25%	323,842
交付金	8,633,089	45.82%	326,384
地方譲与税	300,000	1.59%	▲301,000
分担金・負担金	259,471	1.38%	4,848
使用料・手数料	298,957	1.59%	▲79,344
国庫支出金	1,737,346	9.22%	273,772
県支出金	1,228,790	6.52%	▲361,850
財産収入他	123,762	0.66%	▲13,527
繰入金	831,509	4.41%	▲411,494
繰越金	50,000	0.27%	0
諸収入	128,135	0.68%	▲4,731
市債	2,187,200	11.61%	402,100
合計	18,840,000	100%	159,000

歳出 (単位：千円)

項目	予算額	構成比	前年比
議会費	206,000	1.09%	▲5,692
総務費	2,247,529	11.93%	▲340,344
民生費	5,194,613	27.57%	98,326
衛生費	1,334,296	7.10%	62,063
労働費	4,926	0.02%	239
農林水産業費	1,790,045	9.50%	▲23,183
商工費	137,294	0.73%	▲1,734
土木費	1,921,378	10.20%	123,525
消防費	646,720	3.43%	▲13,983
教育費	1,978,523	10.50%	364,351
災害復旧費	15,113	0.08%	▲4,923
公債費	3,343,563	17.75%	▲99,645
予備費	20,000	0.10%	0
合計	18,840,000	100%	159,000

## 特別会計

前年度より6億2630万円3.75%の増。

歳入・歳出 (単位：千円)

項目	平成19年度 予算額	前年度予算額	前年比
国民健康保険特別会計	5,875,764	5,094,483	781,281
老人保健特別会計	6,800,069	7,112,040	▲311,971
介護保険特別会計	4,062,516	3,914,845	147,671
公共下水道事業特別会計	438,685	439,247	▲562
生活排水処理事業特別会計	130,607	120,725	9,882
合計	17,307,641	16,681,340	626,301

## 水道事業会計

資本的収入が資本的支出に対し、不足する額1億8365万1千円は、過年度分損益勘定留保資金1億8005万1千円及び消費税資本的収支調整額360万円等で補てんされます。

収入・支出 (単位：千円)

項目	平成19年度 予算額	前年度 予算額	前年比
収益的収入	532,786	523,807	8,979
収益的支出	502,065	523,451	▲21,386
資本的収入	138,100	206,400	▲68,300
資本的支出	321,751	400,568	▲78,817

**カット**

# 曾於市特別職給与 曾於市議会議員報酬

## 議案第51号曾於市特別職の職員の給与の特例に関する 条例の制定について

曾於市特別職の職員の給与の特例に関する条例は、厳しい財政状況の中地方行政の運営にあたっては、平成19年度当初予算編成においても歳出の抑制と自主財源の確保を最大の目標に編成されており、そこでその目標に沿って平成19年4月1日から平成20年3月31日までの間、特別職の給与の減額が可決されたものです。

### 市長・副市長5%減、教育長3%減

※年間で試算しますと、市長が給与で501,000円、期末手当で158,441円の減、副市長（2名分）が給与で792,000円、期末手当で250,470円の減、教育長が給与で228,600円、期末手当で72,295円の減で、合計で2,002,806円の減額になりました。

## 発議第4号曾於市議会議員の報酬の特例に関する 条例の制定について

執行部において、行政改革大綱に基づき定員適正化計画並びに組織機構再編計画に沿っての行財政改革の断行において、議会も執行部と一丸となり取り組むため、この厳しい財政運営に少しでも寄与したいとの認識から、平成19年4月1日～平成20年3月31日までの議員の報酬の5%をカットすることが提案され、全会一致で可決されたものであります。

### 議長・副議長・各委員長・議員5%減

※年間で試算しますと、議長が報酬で238,200円、期末手当で75,331円の減、副議長が報酬で190,800円、期末手当で60,340円の減、各委員長（4名分）が報酬で724,800円、期末手当で229,218円の減、議員（20名分）が報酬で3,540,000円、期末手当で1,119,525円の減、共済掛金・給付費負担金967,200円の減で、合計で7,145,414円の減額になりました。

# 市長・副市長・教育長の給与 ／ 議会議員の報酬が減！

(月額、単位；円)

		旧	新	増 減
市	長	835,000	793,250	▲ 41,750
副	市 長	660,000	627,000	▲ 33,000
教	育 長	635,000	615,950	▲ 19,050
議 会 議 員	議 長	397,000	377,150	▲ 19,850
	副 議 長	318,000	302,100	▲ 15,900
	議運委員長	302,000	286,900	▲ 15,100
	常任委員長	302,000	286,900	▲ 15,100
	議 員	295,000	280,250	▲ 14,750

⑤ 曾於市議会だより

# 3月定例会で審議された議案等

議案番号	付議事件	議決結果
承認案第1号	専決処分事項の承認を求めることについて（曾於市乳幼児医療費助成金支給条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について）	全会一致承認
議案第1号	曾於市国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部条例の制定について	賛成多数原案可決
議案第2号	曾於市個人情報保護条例の制定について	全会一致原案可決
議案第3号	曾於市情報公開条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致原案可決
議案第4号	曾於市行政手続条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致原案可決
議案第5号	曾於市公共下水道事業運営審議会条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数原案可決
議案第6号	曾於市議会議員等の報酬、費用弁償及び期末手当の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致原案可決
議案第7号	曾於市職員の諸給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致原案可決
議案第8号	曾於市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致原案可決
議案第9号	曾於市財政調整基金条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致原案可決
議案第10号	曾於市乳幼児医療費助成金支給条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致原案可決
議案第11号	曾於市財部温泉健康センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致原案可決
議案第12号	曾於市予防接種健康被害調査委員会条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数原案可決
議案第13号	曾於市花房峡憩いの森の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数原案可決
議案第14号	曾於市メセナ住吉交流センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致原案可決
議案第15号	曾於市末吉農産物等直販施設・活性化施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致原案可決
議案第16号	曾於市森林総合利用施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致原案可決
議案第17号	曾於市末吉福祉施設メセナ会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致原案可決
議案第18号	曾於市大隅弥五郎伝説の里の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致原案可決
議案第19号	曾於市都市計画審議会条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数原案可決
議案第20号	大隅都市計画事業八合原土地区画整理事業施行に関する条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数原案可決
議案第21号	末吉都市計画事業上町土地区画整理事業施行に関する条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数原案可決
議案第22号	曾於市がけ地近接等危険住宅移転促進審議会条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数原案可決
議案第23号	曾於市常時浸水危険住宅移転促進審議会条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数原案可決
議案第24号	曾於市有住宅条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致原案可決
議案第25号	曾於市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致原案可決
議案第26号	曾於市公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致原案可決
議案第27号	曾於市青少年問題協議会設置条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致原案可決

議案番号	付議事件	議決結果
議案第28号	曾於市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数原案可決
議案第29号	曾於市水道事業運営審議会条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数原案可決
議案第30号	和解の締結及び損害賠償の額を定めることについて	全会一致可決
議案第31号	指定管理者の指定について（曾於市養護老人ホーム清寿園）	全会一致可決
議案第32号	曾於北部衛生処理組合理約の一部を変更する規約について	可決
議案第33号	曾於地域公設地方卸売市場管理組合理約の一部を変更する規約について	可決
議案第34号	曾於地区介護保険組合理約の一部を変更する規約について	可決
議案第35号	平成18年度曾於市一般会計予算の補正について（第7号）	賛成多数原案可決
議案第36号	平成18年度曾於市国民健康保険特別会計予算の補正について（第4号）	全会一致原案可決
議案第37号	平成18年度曾於市老人保険特別会計予算の補正について（第4号）	全会一致原案可決
議案第38号	平成18年度曾於市介護保険特別会計予算の補正について（第3号）	全会一致原案可決
議案第39号	平成18年度曾於市公共下水道事業特別会計予算の補正について（第3号）	全会一致原案可決
議案第40号	平成18年度曾於市生活排水処理事業特別会計予算の補正について（第1号）	全会一致原案可決
議案第41号	平成18年度曾於市水道事業会計予算の補正について（第2号）	全会一致原案可決
議案第42号	平成19年度曾於市一般会計予算について	賛成多数原案可決
議案第43号	平成19年度曾於市国民健康保険特別会計予算について	賛成多数原案可決
議案第44号	平成19年度曾於市老人保険特別会計予算について	賛成多数原案可決
議案第45号	平成19年度曾於市介護保険特別会計予算について	賛成多数原案可決
議案第46号	平成19年度曾於市公共下水道事業特別会計予算について	賛成多数原案可決
議案第47号	平成19年度曾於市生活排水処理事業特別会計予算について	賛成多数原案可決
議案第48号	平成19年度曾於市水道事業会計予算について	全会一致原案可決
議案第49号	曾於市税条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致原案可決
議案第50号	曾於市財部総合交流ターミナルの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致原案可決
議案第51号	曾於市特別職の職員の給与の特例に関する条例の制定について	賛成多数原案可決
陳情第1号	森林組合の経営基盤の強化を図る為、市の財政支援についての陳情書	継続審査
陳情第2号	医師・看護師不足対策に関する陳情書	全会一致採択
発議第1号	曾於市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決
発議第2号	曾於市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
発議第3号	専決処分事項の指定について	原案可決
発議第4号	曾於市議会議員の報酬の特例に関する条例の制定について	原案可決
発議第5号	曾於市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数原案可決
発議第6号	日豪EPA交渉に関する意見書案	全会一致原案可決
発議第7号	医師・看護師の増員を求める意見書案	全会一致原案可決

## 市政は市民の皆様が主役

議会を傍聴することは、市民として市政を知る最もよい方法です。ぜひ、議会の傍聴をお勧めします。定例会は3月・6月・9月・12月です。

次回の定例議会は6月です

# 政を問う



五位塚 剛 議員

## 畜舎に固定資産税(償却資産)はかけるな!

市長／税の公平性から課税対象としたい

**五位塚剛議員** 今年は、農家を中心に減価償却資産課税について申告書が配布されたが、何世帯に通知を出されたか。  
**池田市長** 農家を含めて機械・器具等は、固定資産税の対象となっているので、全市的に3162件に通知した。



大型トラクター

**問** 農家の畜舎・トラクターなどの課税について基本的な考え方を求める。

**市長** 畜舎については、旧町で課税されていたところもあり、今後は課税対象として考えたい。農機具等の未償却残150万円以上は課税対象となる。  
**問** 簡易畜舎などは、課税対象とせず、またトラクターなども農業振興上減免すべきではないか。  
**市長** 税金を公平にするため、課税対象となるが検討はしたい。

## 地域振興券(チューリップ券)の活用について

**問** 18年度も商工業振興の一環として、800万円の支援がされているが、地域振興券の活用で水道料などの納税として利用ができるよう検討すべきではないか。

**市長** 目的が消費者消失対策で、財務局に申請しており、趣旨に反するもので納税での利用は考えていない。

## 子育て支援センターを末吉にも建設すべき

**問** 子育て支援センターの役割と重要性について見解を求める。

**市長** 子育て家庭等に対する育児不安等の相談指導・子育てサービス等への支援など重要と考えている。

**問** 曾於市の中心部の末吉町に、子育て支援センターを建設すべきではないか。

いか。

**市長** 大隅町に子育て支援センターがあり、末吉・財部については出前相談で対応をしているので様子を見たい。

## ゆず振興と水資源を活かした地域おこしを

**問** ゆず振興について、今後の面積拡大と加工方法・施設はどう対応されるか。

**市長** 現在、ゆず栽培面積63haで生産量は465tとなっている。ゆずの生産量は1千tを目指し、加工施設を現在のところに建設したい。



売り出し中の「ゆず吉くん」

**問** 国のこの政策は、小さな農家は廃業に追い込まれる施策である。曾於市にあった施策を進めるべきであるか。

**市長** 今後は、畑かんの利用を含めて対象農家に説明を進め取り組んでいきたい。

## 品目横断的経営の農業施策は見直すべき

に、曾於市内の水も利用し地域おこしも考えるべきではないか。  
**市長** 市内に湧水があれば、天然水とし利用は考えてみたい。

**問** 政府の進めるこの政策は、曾於市内の農業と実態が合わない。見直すべきではないか。  
**市長** 長米・麦・大豆など限定して担い手を応援する施策であり、曾於市においては米のならば対策で115戸が対象となる。

## 一般質問 8 議員登壇

### 持続可能な 行政改革を

市長／実現可能な改革を進める



迫 杉雄 議員

**迫杉雄議員**

今日までに

議論されている行財政改革(案)について、抜本的な事務事業の見直しや民間委託等、職員並びに市民に対し周知・理解をどう求めて積極的推進をされる考えなのか。

**池田市長** 各種団体への補助金や施設使用料の見



建設同志会によるボランティア清掃

**市長** フレックスタイム導入については、5月から導入する。また、今後は「農地・水・環境保全向上対策事業」等も始まる。市内には色々とボランティア活動の人々

直し、指定管理者制度の導入等、実現可能な改革を進めていく計画であり、市民の理解を得なくてはならないので、広報誌や有線放送での周知は勿論、市政説明会や各種会合等を通じて周知を図る考えである。

**問** 分権社会における市民の受益と負担について、共生・協働は不可欠である事から市民サービスのフレックスタイム導入について、また自治会等のボランティアや地域協働についての見解は。

が増えている事から色々な形で地域を守ってもらうよう支援していきたい。

**問** 財政状況についての展望をどのように捉えているか。また、平成19年度予算編成等で、市債額(借金)と基金(預金)はどうなっているか。

**佐々木総務部長** 予算査定段階では20億円オーバーで大変なものがあり、0.9%増の予算を編成した。市民一人当たりの市債額は54万7千円で市民一人当たりの基金額は9万7900円程度である。

### 次世代を担う青少年の育成について

**問** 教育基本法が改正され、教育再生会議の第1次報告が提出され7つの緊急対応が構成された。社会総がかりでの教育再生について教育振興計画の策定は、どのような論議がされているか今後の



募金活動をするボーイ・ガールスカウト

取り組み等、方向付けについて伺いたい。

**植村教育長** 昨年12月国会において改正教育基本法が成立し、新たに政府及び地方公共団体による教育振興基本計画の定め規定が新設されたところであるが、法成立後、間もない事から地方公共団体が手本とすべき規定は整備中である。現況を踏まえ、本市としては国や県の教育振興計画設置の動向をみながら、本市の基本計画の整備の目的をつけたと思う。

**問** 不登校生徒への対応

を教育委員会はどうか。生徒一人一人に対しての対応が必要であるが、出席日数を鑑みれば色々として進級の件や授業についていけなくなる事が憂慮されるが。  
**教育長** 生徒指導主任・養護教諭等を中心としたチームのメンバーが交替で、電話連絡や家庭訪問を行ない不登校の改善に努めている。不登校生徒の進級等については、出席日数等にとられず保護者などの意見を聞いたりして、学校長が判断し出来る限り進級出来るよう努める。



# 敬老（長寿）祝金は 全員に支給すべき！

市長／当面は節目支給で



徳峰 一成 議員

**徳峰一成議員** 敬老祝金は、新年度も一部の年齢

を対象とした節目支給の予算である。市民は全員支給と節目支給のどちらを望んでいると考えるか。一人3千円なら節目支給の3485万円の予算を使って、70歳以上の全員に祝金は支給できるが。

**池田市長** 合併協で節目支給は決まったことであり、当面はこれでやっていきたい。

**問** 市民はどちらを望んでいると考えるかの私の再三にわたる質問に、真

正面から答弁されない。それならば、全員支給かそれとも節目支給かアンケート調査を行ない、その結果に従うべきではないか。

**市長** アンケート調査は考えていない。

**意見** 市民の意見を聞くとうとし

ない。節目支給にこだわると市長の姿勢は厳しく批判したい。市民に訴えるしかない。今後、共産党議



グランドゴルフで健康づくり



員団は市民の皆さんと一緒に、また志を同じくする議員の皆さんとご一緒に、敬老祝金の70歳以上の全員支給を要求して署名運動に取り組みたい。

## 財政が厳しい中 用地取得は慎重に

**問** 財部大川原峡入口周辺と、末吉道の駅隣の用地購入と駐車場整備の計画を、それぞれ聞いた

**市長** 大川原峡入口は、全体事業費6800万円程度で現在交渉中。末吉道の駅隣りは、全体事業費5500万円程度。今後、議会に計画を上げた

**問** 今後、財部支所の職員は毎年10人程度ずつ減らされる計画がある。住民サービスの低下が心配される。用地購入のお金があるなら職員を一人でも多く残し、住民サービスを守ることを優先すべきではないか。また道の駅は収益性が高く、独立採算を基本に運営すべきであり、用地購入費を安易に全額一般会計に頼るべきではない。

**市長** 大川原峡入口の用地購入と整備は、合併前

に旧財部町議会で議決がされており、市民の理解は頂けると考えている。道の駅となりの（用地購入や整備など）ハード面は一般会計で対応したい。

**意見** 現在、そして今後、あれもこれもはできない市の厳しい財政状況ではないか。市長の大川原峡入口周辺の用地購入の考え方が、本当に市民の理解が得られるか疑問である。さらに道の駅隣りを、全

額一般会計（市民の税金）で購入するやり方はいかがなものか。納得できないため、今後とも取り上げていきたい。



大川原峡入口の整備を計画中

## その他の質問

- ◎ しっかりした収支計画で維持管理費の改善を
- ◎ 用地取得や事業は予算化してから行なえ
- ◎ 住民税の申告書の改善を

# 公立高校出願状況は

教育長／定員割れを起こしている



原田 賢一郎 議員

**原田賢一郎議員** 県教委発表の高校入学出願状況をどう捉え、どう認識しているか。

**植村教育長** 曾於地区内では、岩川高校電子機械科1・14倍を除き軒並み定員割れを起こしている状況であり、曾於地区内



県立岩川高校の正門

の中学校卒業生は、昨年度よりも更に60名以上少ない状況である。したがって児童生徒数減少への対応策が必要である。

**問** 隣接市町村の私立高校の入学出願状況とその認識は。

**教育長** 隣接市への私立学校に進学が決定している生徒は77人である。生徒や保護者の職業感や人生設計への考え方等により、多様な高校から進路を選択していると考えて

いる。

**問** 市内の高校に一人でも多くの入学者を確保するため、どのような検討をされ、今後どう構築していくのか。

**教育長** 小中学校校長研修会において、進路指導の充実を小学校段階から始める事や、中高連携による教職員と生徒の交流等指導を強化し、旧町別による協議等も実施した。また、特別奨学金制や就学援助も実施してい

## 鳥インフルエンザ対策と家畜防疫対策について

る。また、夏休みの体験入学・学校開放・農業体験・市民祭への出品・資格説明資料配布等生徒確保に懸命の努力をしている。

**問** 総合学科設置をどう考えるか。

**池田市長** 地域の求めるニーズを配慮しながら、曾於市に合う新しい教科は何か総合学科も含めて検討する必要がある。

**問** 宮崎県に発生した鳥インフルエンザの本市における影響は。

**市長** 販売面においては、直接の影響はないと考えている。

**問** 発生後、本市の防疫体制をどう取られたか。

**市長** 1月15日に養鶏業者・農家及び愛玩鶏飼養者に防疫対策啓発チラシの配布をして、2月に飼養実態調査を実施し消費の配布を行なった。なお、

50羽以上の飼養者には県から消石灰の配布がなされた。

**問** 家畜防疫対策連絡協議会での対応は。

**市長** 1月30日に市長を会長とする曾於市家畜防疫対策連絡協議会を設置するため、鳥インフルエンザ侵入防止対策委員会を設置し移動制限区域に入った時の対応策を協議している。

**問** 各農家の出入口に簡易的な消毒液散布装置が必要と考えるが、助成措置は。

**市長** 今の所考えていないが、どの様なものがあるか検討させて頂きたい。

**要請** 養鶏農家が、安心して暮らせる防疫体制を確立されるよう要請する。



消石灰を使った防疫対策

# 芙蓉之塔の 保全と整備について

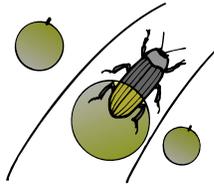
市長／案内板や展示を検討したい



瀬戸口 三郎 議員

**瀬戸口三郎議員** 芙蓉之塔の整備をし、世界平和の教育を観光に活かして展示室の整備を併せて検討できないか。

**池田市長** 芙蓉之塔は太平洋戦争末期、岩川飛行場とし芙蓉部隊が配属され終戦まで戦い続けた戦争遺産であり、特攻基地の案内板や展示を検討したい。



## 温泉掘削について

**問** 大隅町内には、本格的な温泉施設が無く、高齢者の方々の要望も多く、岩川地区の活性化に

つながる。温泉掘削の考えはないか。  
**市長** 今、財部温泉健康センター・末吉メセナ住吉交流センターがあり、現在思いやりタクシーの運行もしているので、当分の間はこの2つの施設と現在の弥五郎の里の温泉施設を利用して頂きたい。

## 日輪城(恒吉城)の開発について



大隅町の芙蓉之塔

**問** 日輪城(恒吉城)の開発について、現在までのどのような調査が行われたのか。その結果と今後、この日輪城を中心に恒吉地区のまちおこ

しに活用できる施設は計画できないか。

**植村教育長** 恒吉城跡の調査・保存事業は大きく四本柱で、旧大隅町で進めてきており、第1に地形測量図作成、第2に大学の先生を交えた調査会、第3に埋蔵文化財発掘調査、第4に用地取得である。地形測量図は11年度から現地調査中で、調査会は平成13年度から実施している。埋蔵文化財発掘調査は、急傾斜対策事業で奈良市の元興寺文化財研究所に委託し、3次に亘って発掘調査を実施している。用地取得は、平成16年度から実施している。これからは、これまでの調査された成果も活かしながら、平成19年度は2回の調査検討会を計画し、その中で指定分化財の史跡として、整備できるように計画立案中である。

**要望** 恒吉地域は高齢化が進んでいる地区であり、今後、歴史と環境を基本とした振興計画を強

く要望するものである。

## 大鳥峡の保存について

が、そうめん流しも客が減少し、平成14年から閉鎖している。バンガローについても施設利用をやめている。今後の利用については、遊歩道の整備を検討してみたいと思っている。

**問** 曾於八景の大鳥峡は、大事な観光地であり市民の憩いの場とし、市がしっかり管理をすべきであるが、今後の整備計画はあるか。  
**市長** 大鳥峡の整備は、森林総合利用施設整備で吊り橋3橋・バンガロー5棟など整備されている



閉鎖中の大鳥峡



# 少子化対策 (保育所のあり方)は

市長／地域住民との話し合いを進める



大川原 主税 議員

**大川原主税議員**  
保育所の運営のあり方は。

**池田市長** 保育事業は、子どもの多少に関わらず大切なものである。19年度も運営方法はこれまで同様とすることで、予算措置をしている。昨年、



曾於市立財部南保育所

財部の北・南保育所の保護者を対象に、保育所運営のあり方について説明しアンケート調査を実施したところ、保育所の存続については、27人全員が希望されている。今後の運営については、市が引き続き運営するのが望ましいのか、民間委託、それとも幼児学園とするのが望ましいのか結論は見出していないが、子どもを持つ親が安心して預

けられる制度について、早い時期に子を持つ親を含めた地域住民との意見交換等を十分に行ない、お互いが納得の上で運営方法を決定していく。  
**問** 中学校統合の取り組みは。  
**植村教育長** 本県においては、5学級以下の小規模の中学校が全体の50%を超えている現状である。これらの小規模学校は教員組織の充実と施設

整備等の拡充を図る上に困難を伴うことが多く、適正な規模にまで統合することは、義務教育水準の向上と学級経費の合理化のために重要なことだと認識している。将来の児童生徒数の動向及び学校の地域の文化センターとしての役割等、教育の効果を勘案し保護者や地域住民の声を十分考慮して中学校統合の時期を判断するため、検討委員会を設置して進めていく。

## 職員給与の実態について

**問** 旧町の職員給与に不均衡があるのか。あるとすれば是正をどう考えているか。

**市長** 職員の給料については、同じ給料表の中で



議会事務局

**その他の質問**  
◎自治会の現況と今後の見通しは

運用をしているが、合併の時旧町の基準による履歴を新市へ引き継ぎ運用していることから、差が生じることにより、全く同じ年齢・学歴・職歴・採用でありながら給料額が違う職員もいる。今回、曾於市の統一した基準で運用を行ないこの差をなくすため、人事院勧告による給料表の改定に伴い、職員の給料を再計算する作業を行なっている。



# 平成18年度災害復旧工事に係る進捗状況

市長 / 5月中旬に全ての復旧を終える



漆間 純明 議員

漆間純明議員 耕地災害

の件数は。

**池田市長** 末吉は農地52件、施設57件、大隅は農地259件、施設198件、財部は農地9件、施設14件全て発注済で、今年度内完成が見込めない事業については、繰越を考えている。なお、5月中には全て復旧を終える予定である。

**問** 耕地災害にまつわる堤防決壊修復工事と同時に、上方・下方の寄洲除去も県に要望できないか。

**市長** 今後は、その様な

	末吉支所	大隅支所	財部支所	計	
市道の状況	路線数	419線	316線	210線	945線
	実延長	396,645m	297,314m	231,121m	925,080m
	改良済延長	231,526m	200,035m	79,600m	511,161m
	改良率	58.4%	67.3%	34.4%	55.3%
農道の状況	路線数	940線	430線	594線	1,964線
	実延長	466,000m	330,000m	254,000m	1,050,000m
	改良済延長	233,000m	90,000m	108,000m	431,000m
	改良率	50.1%	27.2%	42.5%	41.0%

要望もしていきたいと思う。

**問** 土木災害の件数は。

**市長** 公共土木災害50件、市単独災害20件全て発注済みで、年度内完成の見込み。

## 大隅支所旧岩川駅下岩川病院周辺浸水対策

**問** 9月補正で、調査費を計上していたがその結果は。

**市長** 大隅支所周辺流域面積4万5700㎡、旧岩川駅周辺流域面積(桜ヶ丘台地含む)68万2400㎡で、急を要する既存排水溝布設替、側溝嵩上げは2月に発注済。岩川病院周辺の流域

面積は17万6200㎡、3ヶ所共通して言える事は排水溝が低水位近くにあり、河積の下部に設置されている事と、河川の最高水位より宅地が低い。

**問** 今後、河川断面の改修、川床を下げる及び新規側溝付設工事等は考えられないか。

**市長** 関係住人には、調査結果を説明し意見を賜り部内で検討し、土木事務所と協議を行ない事業実施を要望していく。

## 市道・林道・農道等事業完了後の管理

**問** 市道・林道・農道等事業完了後の管理についてどうなっているか。

**市長** 市職員維持作業員の現場往来時に、市道走行パトロール及び郵便局・市内建設業・水道事業者64社、曾於ふるさと協議会と協定を結び被害情報収集と報告を願っている。

**問** 法面等の巡回調査整備を関係機関に委託する考えはないか。

**市長** 法面中腹にある排水溝危険箇所の巡回調査等は、関係機関と協議し委託検討も必要かと考えている。

**問** 市単独管理分の件数、また18年度発生災害件数は何件か。

**市長** 市全体の農道は1964路線1050km、うち市単独管理は457路線25.2kmで18年災害は発生していない。また市全体の林道は43路線79.2kmで、林道災害は財部の1件である。

## 市道一級寺下・竹山線拡幅改良及び排水対策

**問** 延長約2kmのうち町入口約300mと竹山交差点入口約400mが未改良である。特に町入口に関しては、市街地県道63号線との交差点があり、交通量も多く危険性の高いところである。また、大雨の度に床下浸水もあり消防団出動も年数回となっている。改良計画はどうなっているか伺う。

**市長** 寺下・竹山線改良は、19年度に測量設計業務を実施し20年度工事に着手する予定。

**問** 19年度事業と並行して町入口からの改良拡幅は考えられないか。

**市長** 今後、地元住民の意見要望を聞き検討したい。



改良が計画されている寺山・竹下線

# 施政方針と 平成19年度予算を問う

市長／思いやりと均衡性



大津 亮二 議員

**大津亮二議員** 施政方針の中に「思いやりの心あふれる曾於市」を宣言すると言われたがイメージを伺いたい。

**池田市長** 悲惨な事件や事故が報道され、生活環境が大きく変化しており、各分野において思い

やりの心を育ててきた。い。

**問** 予算編成で留意された点を伺いたい。

**市長** 前年度の5%削減で要求するよう要請し、補助金の見直し・事業の緊急性・必要性・優先度・景気対策・雇用の創出・市内の均衡等を考慮した。

**問** 合併特例債の積極活用により、財政硬直化方向になっていないか。

**市長** 地方債の借り入れ

なしには財源確保が難しい状況であり、交付税算入率の高い合併特例債を活用することになっている。

## 市民憲章について

**問** 憲章策定の基本的な考え方を示されたい。

**市長** 合併後、制定することになっており、市民の心の支えとなる親しみ



新築される末吉中学校

やすいものにした。庁舎内で構成するプロジェクトチームにより、憲章・宣言・キャッチフレーズ及びキャラクターなどの制定に向けた事務を処理させている。

**問** 市民参加型で取り組むべきではないか。

**市長** まちづくり審議会等にも提案し、パブリックコメントで広く市民の意見を求めたい。

## 教育行政について

**問** 教育問題は、国を挙げて論議されているが、話題になっていない学校選択制について伺いたい。

**市長** 公立の小・中学校を複数から選ぶことが出来る制度だが、学校の序列化や格差が発生する恐れがあり、導入は慎重に対応したい。

**問** 小規模校統合は周辺部切捨てに繋がると思うが見解を求めたい。

**市長** 保護者や地域住民

の声を十分考慮して判断していきたい。

**問** 小規模校への支援は重要課題と考えるが。

**市長** 今後も複式学級指導補助員の増員や集合学習などの実施により、特色ある教育活動の推進を進めたい。山村留学、特認校については今後も継承していきたい。

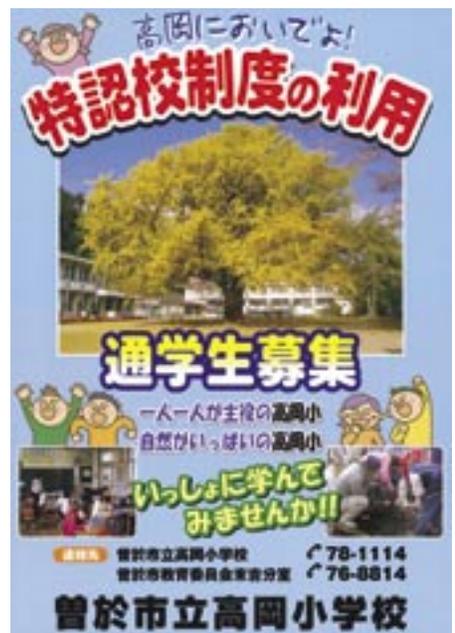
## 地上デジタル放送化の対応について

**問** 2011年からテレビが完全デジタル放送化されるが対策を伺いたい。

**市長** 曾於市においては2008年に中継局が開設される予定で、現在のUHFアンテナで対応できる予定である。UHFが視聴できる場所は視聴可能なエリアと思われ、エリア外は共同受信施設の整備が必要と思われる、整備に200万円から300万円程度といわれている。

**問** 都城ケーブルテレビが積極的に展開・拡大されているようだが。

**市長** 難視聴地域では加入入することにより難視聴解消の一つの方法ではあるが、毎月の使用料(3500円)を伴う。



# 会 報 告

- 総務常任委員会
- 文教厚生常任委員会
- 建設経済常任委員会

の所管事務調査を行ないましたので報告します。また、3月定例会で  
について審査を行ないました。

**総務常任委員会（瀬戸口三郎委員長）**  
平成19年1月22日～23日に熊本県上天草市・  
菊池市にて所管事務調査を行ないました。また、  
曾於市国民保護対策本部及び緊急対処事態対策  
本部条例の制定など11件について委員会を開き、  
慎重に審査した結果、議案8件を全会一致、議  
案3件を賛成多数で可決すべきものと決定しま  
した。

## ☆所管事務調査報告

### （調査地）

熊本県上天草市・菊池市  
（調査事項）合併後の組  
織機構の再編と住民サー  
ビスについて・合併支援  
措置による特例債、特例  
交付金、推進補助金等の  
取り組み状況について  
（日程）

平成19年1月22日～23日  
上天草市は分庁方式と  
して、2庁舎2支所6出  
張所でスタートし、現本  
庁舎と同等の庁舎建設が  
計画されていきました。予  
算の配分は、旧町のニー  
ズが異なり苦慮していま  
した。また、事業につい  
ては、合併特例事業より辺



総務委員会所管事務調査

地・過疎対策事業を優先  
して、取り組んでいまし  
た。菊池市においても、  
人件費・福祉費の増によ  
り計画されていきました。  
新庁舎建設は凍結され、  
職員の採用もされていま  
せん。問題点としては、  
合併協議会の議決事項と  
新市の行財政政策実施計  
画との整合性の難しさが  
あります。職員の異動に  
ついては、住民サービス  
の低下にならないように  
旧町職員の配置がされて  
いました。両市政状況に

れま  
す。

☆曾於市国民保護対策本  
部及び緊急対処事態対  
策本部条例の制定につ  
いて

**問** 本市の国民保護計画  
はいつできるのか。  
**答** 市でも計画案を作成  
し、現在、県と協議中で  
ある。

☆曾於市個人情報保護条  
例の制定について

変わりが  
なく、今  
後、事業  
の検討・  
見直しを  
始め、住  
民サービ  
スの低下  
を考慮し  
ながら職  
員一丸と  
なって取  
り組むべ  
き大きな  
課題であ  
ると思わ  
れます。

**問** 実施機関について、  
シルバー人材センターや  
社会福祉協議会は対象と  
しないのか。  
**答** 審議会等は対象とな  
るが、他の法人・団体は  
対象としない。

☆曾於市議会議員等の報  
酬、費用弁償及び期末  
手当の支給に関する条  
例の一部制定について

**問** 滞納整理指導官は、  
月に何日程度庁舎内で指  
導されるのか。  
**答** 月に2日程度である  
が、その他にこちらから  
出向いて相談に行くこと  
もある。

☆曾於市国民健康保険税  
条例の一部制定につ  
いて

**問** 改正条文に「最初の  
納期」とあるが、通常何  
期分になるのか。  
**答** 年度途中で加入され  
た方等以外は、第2期分  
に合算される。

☆平成19年度曾於市一  
般会計予算（所管分）

**問** 予算編成にあたり、  
当局としてはどのような  
考え方で臨んだのか。  
**答** 厳しい地方財源の確  
保が予想される中で「心  
豊かで夢と希望のもてる  
元氣な曾於市」の創造を  
目標に、地域の均衡を図  
りながら諸政策の実現に  
向け徹底したコスト削減  
に努め、最大の効果を上  
げるための予算とした。

**問** 庁舎改修について

**答** 土地開発公社の土地  
を購入して、末吉庁舎の  
駐車場整備をする。

**問** 財部駅舎について。  
**答** 駅舎の老朽化にとも  
ない、駅舎とトイレを一  
体化した駅舎等の整備を  
する。

**問** 職員の研修・派遣に  
ついて。  
**答** 県後期高齢者医療広  
域連合会の発足にともな  
う1名の職員派遣と県大  
阪事務所への農産物生産  
流通実務職員研修費であ  
る。

# 委員

各常任委員会は、閉会中付託になった議案・陳情

## 文教厚生常任委員会（渡辺利治委員長）

平成19年1月25日～26日に大分県大分市・別府市にて所管事務調査を行いました。また、曾於市乳幼児医療費助成金支給条例の一部を改正する条例の制定など16件について委員会を開き、慎重に審査した結果、議案11件を全会一致、議案4件を賛成多数で可決、陳情1件を全会一致で採択すべきものと決定しました。

### ☆所管事務調査報告

#### （調査地）

大分県大分市・別府市

#### （調査事項）

障害者に関する市独自の支援策について・子育て支援策について

#### （日程）

平成19年1月25日～26日

大分市は、障害者自立支援法における利用者の負担軽減を独自に講じており好評であったが、今後、国の軽減策が



文教厚生委員会所管事務調査

見直されるため今年度限りです。障害児（者）の余暇活動等、社会参加のための外出の際の移動支援策として、国基準より長い90時間を設定しています。福祉的就労促進支援事は、市の負担1600万円で一般就労が困難な知的障害者に喫茶店を造り収益事業をしています。別府市においては、子育て支援拠点施設「ほっぺパーク」があり、親子がほっぺとほっぺをくっつけてふれあうような施設で、乳幼児から小中学生、子育て家庭から高齢者まで利用され保育所・児童館・子育て支援センターが保育人・保育士・保健師も

配置されています。認可外保育施設への助成もあります。公立8ヶ所・私立18ヶ所で待機児童はいません。ファミリーサポートとは、保護者の急病か急な用事に対応するために、児童を自宅で預かってくれる家庭と預ける家庭が会員制度を作り、子育てを助け合うシステムです。万が一の保険料は、市が全額負担し利用料金は通常600円で、時間外700円で預ける会員52人、受け入れ会員83人で市民に大変好評な制度であります。

### ☆曾於市乳幼児医療費助成金支給について

県内2番目の施策で、6歳未満の乳幼児に係る医療費を所得に関係なく支給するが、予算的にも大きく差がないことから、就学前までに対象年齢を改正すべきであるという意見が出ました。

### ☆平成19年度曾於市一般会計予算(所管分)

クリーンセンターの維持管理費削減の努力は。

燃料に木くず等混ぜて節約し、鉄くずも売却、また管理委託先を変更するなどしている。

長寿祝金支給の考えは。

アンケートは取らないが、今後も節目支給で行なう。公民館活動の停滞にはつながらないと考えられる。

曾於郡医師会立病院の医師確保の対策は。

協議会・首長会を通して、小児科医等の確保に努める。

末吉中学校新校舎について。

今年8月に解体してプレハブ教室を造り、20年9月より新校舎で学べるようにする。財源は合併特例債での対応を考えている。

小規模校支援対策は。

曾於市独自の複式学級指導補助員、7名を児童・学級数等にに応じて配置している。

学校の、修繕費の要望はどう対応しているか。

各学校より要望を聞き総合的に見て、緊急度・優先度等で財政と協議して決定し、対応していく。

### ☆平成19年度曾於市国民健康保険特別会計予算

健康への認識の対策はどうしていくのか。

保健師の配置や指導等、国保だより等で周知を図っていく。

### ☆平成19年度曾於市介護保険特別会計予算

地域包括支援センターの人的体制は。

4月より臨時職員を含め2名増員し、ケアマネジャーも5名配置し、市民より相談があればすぐに外向いていく体制を整える。

**建設経済常任委員会（吉村幸治委員長）**

曾於市花房峡憩いの森の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定など14件について委員会を開き、慎重に審査した結果、議案13件を全会一致で可決、陳情1件を継続審査すべきものと決定しました。

**☆平成19年度曾於市一般会計予算(所管分)**

**問** 農業を守るため、農地の有効利用・遊休農地の解消等に積極的に取り組むとあるが、どのように活動するのか。

**答** 農業委員会の3部会で連携を取り合っており、遊休農地の解消に取り組むそれぞれ特色を持った農業を進める。

**問** メセナ住吉交流センターの、泉源掘削後の施設の改修はどうなるのか。

**答** 19年度に泉源掘削をして、20年度にパイプラインを予定している。

**問** 市単独間伐支援事業は新植(造林)などもあるので、今後も継続して



泉源掘削予定地 (末吉町新住吉)

くよう検討すべきである。

**答** 要綱では、17年度から19年度の3か年であるので、あとは検討したい。

**問** 大鳥峡周辺整備は、今後どのように考えているか。

**答** 19年度遊歩道の補修

として、防護柵とバンガローの下から2号橋まで整備する。なお、2号橋から岩屋観音までは岩があり補修は出来ないの、今後検討していきたい。

**問** 有機センターの堆肥利用が合併により、財部・大隅にも広がったと聞くがどうなっているか。

**答** 県の堆肥コンクールで県知事賞を受けるなど、有り難い評価もあつて、財部は園芸農家など、大隅は水田の施肥等に利用されるようになった。

**問** 農道等維持補修費

など、市単独土地改良事業補助が前年度22件積み残しがある中、減額になっていくがなぜか。  
**答** 積み残しがあつて迷惑を掛けている。な

お、原材料は財政との関連で減額になっていて、緊急性等を考慮し補正でもお願いしたい。

**問** 18年度小災害で10万円以上40円未満が今後出てきた場合は、対応できるか。

**答** 市単独農業用施設災害復旧事業補助金で対応できる。

**問** 市道改良の、基本的な考え方はどうなっているか。

**答** 工事費1m10万円をオーバーしない範囲で、中央線無し1・5車線(6m)で地域の実情に応じ、ランク付けして延長を伸ばしていきたい。

**問** 河川の寄洲除去の考え方はどうなっているか。

**答** 災害防止のため計画的に行なつて、また県にも要請していく。

**問** 若者定住促進のため、市の住宅で水洗化を計画的にすべきである。

**答** 19年度、向江団地を公共下水道に接続して水洗化を行なう計画である。

る。

**問** 谷ヶ峯の堆肥等環境汚染防止対策の水質検査結果と、今後の対策はどうなっているか。

**答** 窒素分が多く水稲にも影響があるので、19年度も引き続き水質検査と水源確保のため用水パイプ補助を計画している。工事費等の入札に対する考え方はどうなっているか。

**答** 透明性・公平性・競争性を考え、19年度を目途に改善に向けて取り組みたい。しかし、地元業者の育成にも努めなければならぬ。



財部町谷ヶ峯地区

**問** 問題点はなにか。  
**答** 色々あるが、すでに浄化槽設置の人は難しい。また、早くして欲しいという人もいる。

**☆平成19年度曾於市水道事業会計予算**

**問** 石綿管布設替工事の計画はどうなっているか。

**答** 19年度から21年度の3年間で、道路改良と並行して布設替えを終了する計画である。

**☆平成19年度曾於市公共下水道事業特別会計予算**

**問** 下水道接続の推進の

# 可決された意見書

## 日豪EPA交渉に関する意見書

わが国政府は、日豪両国政府の共同研究最終報告書が取りまとめられたことを受けて、昨年12月12日の首脳会談で日豪EPA交渉の開始に合意しました。

わが国の豪州からの輸入状況を見ると、農林水産物輸入の占める割合が高く、しかもわが国にとって極めて重要な米、麦、牛肉、乳製品、砂糖などの品目が含まれているのが実態であります。このため、豪州との交渉では、農産物の取扱いが焦点となるのは必至であり、その取扱い如何によっては、わが国の農業・農村に壊滅的な打撃を与えるだけでなく、関連産業や地域経済等に対しても影響を及ぼし、地域社会をも崩壊させる懸念があります。

こうした状況を踏まえ、政府におかれては、豪州との交渉にあたり、下記事項の実現について、特段のご配慮をされるよう強く要請します。

記

1. 重要品目に対する例外措置の確保
2. WTO農業交渉に対するわが国の主張に基づいた対応の確保
3. 交渉如何によっては交渉を中断するなど厳しい判断を持って交渉に臨むこと

## 医師・看護師の増員を求める意見書

医療事故をなくし、安全・安心でゆきとどいた医療・看護を実現するためには、医療従事者がゆとりと誇りを持って働き続けられる職場づくりが不可欠です。しかし、医療現場の実態はかつてなく過酷になっており、医師や看護師等の不足が深刻化しています。

看護師は仕事に追い回されて疲れ果て、「十分な看護が提供できている」との回答は1割にも届かず、4分の3が辞めたいと思っているほどです。

欠員を直ちに補充するとともに、大幅増員を実現することが切実に求められています。看護職員については、少なくとも「夜間は患者10人に対して1人以上、日勤帯は4人に対して1人以上」の配置にすることが必要です。

過酷な労働実態を改善するため、夜勤日数の上限規制などの法整備が必要です。「安全・安心のコスト保障が必要」であり、診療報酬などによる財政的な裏づけが求められています。

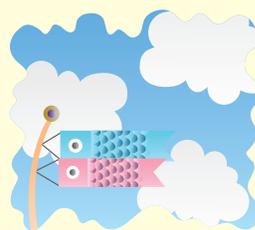
よって政府におかれては、現場での大幅増員を保障する看護職員等の確保対策・予算の拡充や診療報酬の改善を行うよう要望するものです。

記

1. 医師・看護師など医療従事者を大幅に増員すること。
2. 医師の養成数を抜本的に増やすとともに、医師・看護師の配置基準を引き上げ、定着のための施策を進めること。
3. 看護職員の配置基準を抜本的に改善すること。緊急に「第6次看護職員需給見通し」の見直しを行うこと。
4. 夜勤日数を月8日以内に規制するなど、「看護職員確保法」等を改正すること。

# 議会の動き

- 1月28日 志布志市誕生一周年記念式典
- 14日 国道10号線「都城道路」着工式(都城市)
- 14日 都城志布志道路建設促進大会に伴う懇談会(都城市)
- 14日 都城志布志道路建設促進大会(都城市)
- 22日～23日 総務常任委員会所管事務調査(上天草市・菊池市)
- 24日 長崎県雲仙市議会まちづくり調査委員来訪
- 25日～26日 文教厚生常任委員会所管事務調査(別府市・大分市)
- 25日 長崎県南島原市議会広報編集特別委員会来訪
- 2月1日 議会運営委員会
- 13日 議会運営委員会
- 22日 議会運営委員会
- 27日 県市町村議会議長会公務災害補償等組合定例会
- 28日 第1回定例会(初日)
- 3月1日 議会運営委員会
- 2日 行財政改革調査特別委員会
- 6日～9日 第1回定例会(一般質問・総括質疑)
- 12日～14日 各常任委員会
- 15日 第1回定例会(補正予算委員長報告・審議・表決)
- 16日～23日 各常任委員会
- 22日 東九州自動車道新直轄事業「鹿屋申良IC～大隅IC間」起工式(大崎町)
- 27日 はしご付消防自動車運用式(志布志市)
- 28日 議会運営委員会
- 29日 第1回定例会(最終日)



雲仙市議会まちづくり調査委員の皆様



南島原市議会広報編集特別委員会の皆様

## 編集後記

年号が昭和から平成に移り、早いもので来年は成人の節目に当たりま  
す。平成19年、どんな1  
年になるのかなあ・・・。  
地球温暖化の背景や  
エルニーニョ現象の影響  
で、各地で記録的な暖冬  
であった。雪不足で、ス  
キー場が営業休止になっ  
た。寒のもどりで、3月  
12日にはいきなり1日80  
cmの大量の雪が降った所  
もあった。地震も発生し  
た。いづどこで、何が起  
こるか分からない昨今で  
ある。交通事故・災害や  
児童生徒の、登下校等の  
安全確保など十分注意し  
たいものです。

本格的に農作業が始ま  
ります。トラクター・農  
機具等の取り扱いには細  
心の注意を払って、事故  
のないことを願います。

これから、災害のシー  
ズンになります。自然  
災害・台風災害、また昨  
年のような集中豪雨のな  
いことを祈ります。

曾於市の当初予算も決  
まりました。予算執行に当  
たっては、市民にとって  
素晴らしい1年になるこ  
とを祈念します。

(大休寺)



### 議会広報等調査 特別委員会

- 委員長 大川原主税
- 副委員長 大川内富男
- 委員 八木 秋博
- 〃 西川 熊則
- 〃 大休寺 守
- 〃 五位塚 剛
- 発行責任者 坂口 幸夫
- 議長